

私立大学図書館協会東地区部会研究部

2018研修分科会「学習支援の観点で電子ブックを考える」

# 本当に使われる電子図書館とは — 3つの電子書籍サービスを通じて考える —



2018年 11月 8日

株式会社 紀伊國屋書店 ICT営業本部 電子書籍営業部

西田 和之 nishida@kinokuniya.co.jp

# ■ 本日の内容

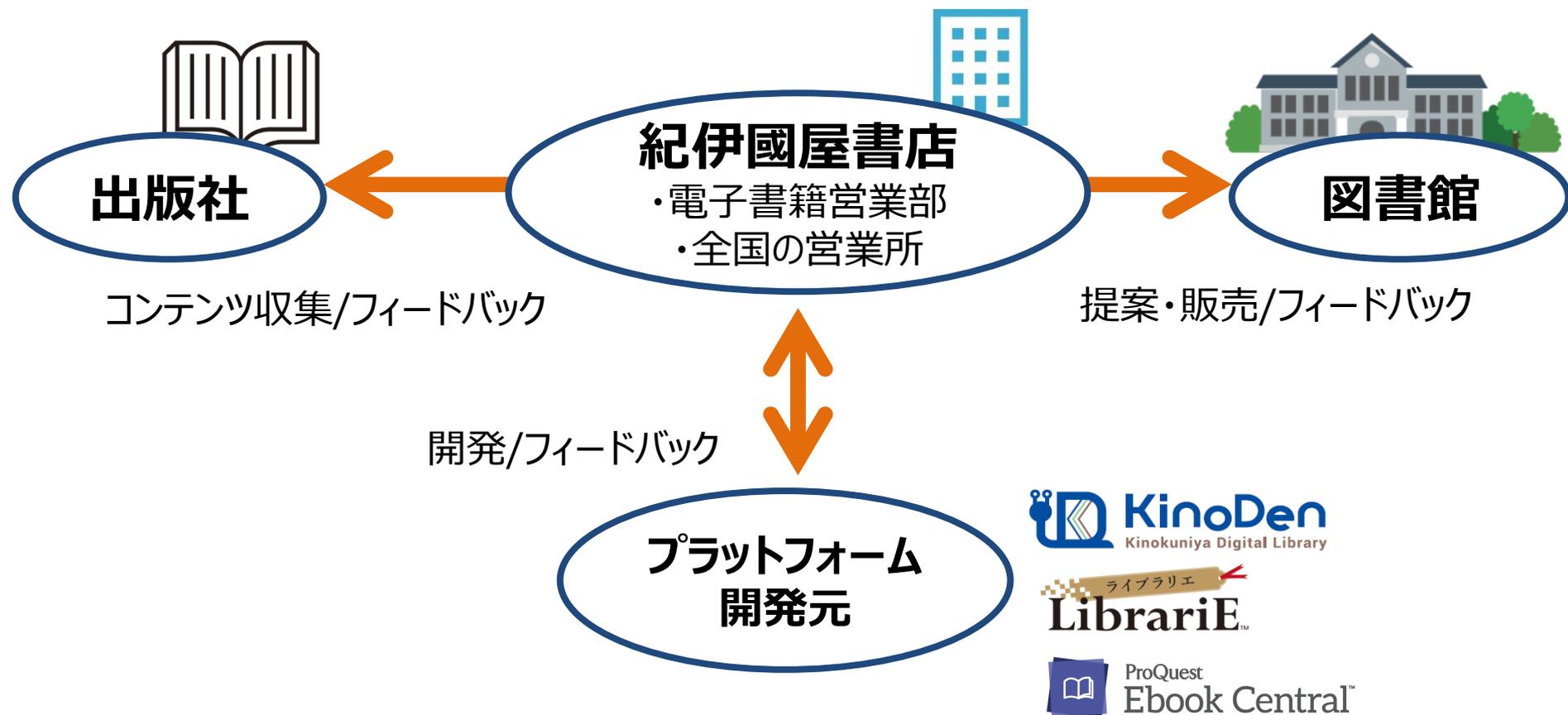
はじめに	p.3-5
1. 図書館の役割と電子書籍	p.6-7
2. 紀伊國屋書店からのご提案 その1	p.8-11
3. 紀伊國屋書店からのご提案 その2	p.12-15
4. 3つのプラットフォーム導入事例	p.16
5. KinoDen モバイルアプリ紹介	p.17

(参考) 3つのプラットフォーム比較表

(付録) 電子書籍を理解するための参考資料

# はじめに 紀伊國屋書店がしていること

- ・電子書籍サービスの提供において、出版社、プラットフォーム、図書館をつなぐ役割



# はじめに 紀伊國屋書店の図書館向け電子書籍サービスの歴史

- 2002年 図書館向け電子書籍サービスNetLibrary(米国OCLC)の国内販売開始 (洋書)
- 2007年 NetLibraryで和書電子書籍の販売開始
- 2011年 NetLibraryが米国EBSCO社プラットフォームに移管
- 2013年 紀伊國屋書店・KADOKAWA・講談社で(株)日本電子図書館サービス(JDLS)設立
- 2015年 電子図書館サービス「**LibrariE(ライブラリエ)**」をリリース
- 2017年3月 NetLibraryの紀伊國屋書店販売が終了 (直販移行)
- 2017年4月 **ProQuest Ebook Central**の取扱い開始 (洋書)
- 2018年1月 紀伊國屋書店学術電子図書館 **KinoDen**  
Kinokuniya Digital Libraryリリース (和書)

# はじめに 紀伊國屋書店が提案する 大学の電子図書館イメージ 3つのサービス

- 大学院 研究者
- 4年
- 3年
- 2年
- 大学 1年
- 中高

- 専門力育成
- 基礎力養成



### 学術和書

自社開発プラットフォーム  
買切型販売モデル

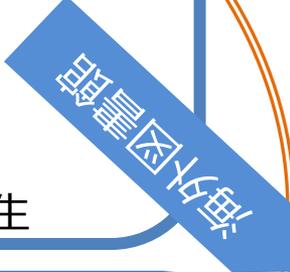
(主な目的)  
学術研究  
専門・基礎教育



### 学術洋書・和書

ProQuest多言語プラットフォーム  
買切型・年間購読型販売モデル

(主な目的)  
学術研究  
専門・基礎教育  
英語授業カリキュラム・留学生



### 一般和書 (文芸・教養・趣味実用書)

日本電子図書館サービス (JDLS) プラットフォーム  
有期限・回数制限型販売モデル

(主な目的)  
本に親しむ・基礎教養・読解力・思考力  
資格取得・就活・娯楽



# 1-1. 図書館の役割から見た電子書籍 1

- ・私が司書資格を取得・入社した20年前とは大きな変化が・・・
- ・冊子から電子リソースへの移行という大きな流れ
- ・電子のメリットは理解できるが、一方で新たな悩みも？

1.資料の収集

1

2.整理

3.保存

4.提供

2

【冊子体書籍に対する電子書籍の一般的な特長・メリット】

- ・場所を取らない
- ・すぐ入手できる（納期が短い）
- ・装備不要、返却督促、紛失、盗難、汚破損がない
- ・利用者はいつでもどこでもアクセスできる
- ・全文検索など紙の書籍ではできないことができる,etc.

# 1-2. 図書館の役割から見た電子書籍 2

## 1. 資料の収集（選書/購入）の視点から

- 欲しいコンテンツが見つからない
- 何を選書したら良いのかよく分からない
- 冊子体と一緒にまとめて選書、発注をしたい



## 2. 提供（利用者サービス・学修支援）の視点から

- 電子書籍の存在自体があまり知られていない
- 導入したけどあまり利用されていない
- 電子書籍ならではの使い勝手も重視したい



## 2-1. 紀伊國屋書店からのご提案 その1

利用者（学生・教員）に

**電子であることのメリットを活かして**

- ・多くのコンテンツを実際に利用、体感してもらう
- ・選書発注プロセスに積極的に関わってもらう



**試し読み&リクエスト購入方式は  
いかがでしょうか？**

# 2-2. KinoDen とは

## 1. 国内学術和書

- 現在、14,000点以上。新刊が増える傾向
- 一定ページ数の「試し読み」が可能

## 2. 今までにない快適な使い勝手

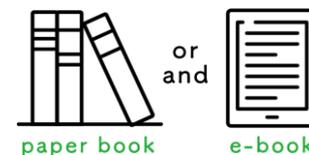
- レスポンシブデザイン(PDF, EPUBリフロー対応)
- さらに、iOS, Android向けモバイルアプリを近日リリース

## 3. 導入しやすい単品買切りモデル

- 1冊から購入可能。維持費なし。
- 本文同時アクセス数制限方式（1, 2, 3・・・）

## 4. 紙と電子のタイムリーな選択収書

- Smart PLATONから紙と電子の横断検索
- 電子書籍は試し読み、発注即アクセスが可能



## 2-3. ProQuest Ebook Centralとは

### ① 100万点以上の学術書

海外主要学術出版社・大学出版局  
既刊書から新刊まで幅広く提供  
海外7,000機関導入  
国内180機関導入

### ② 多様な販売モデル

単品買切型  
短期レンタル型  
年間購読型



### ③ 多言語コンテンツ強化

英語以外のコンテンツの拡充  
日本語書籍（和書4,000点以上）  
紀伊國屋書店を通じて提供開始

### ④ Mediated DDA

90万点以上の学術書  
5分間試し読み&リクエスト

圧倒的なコンテンツ量であらゆる学術研究ニーズをサポート

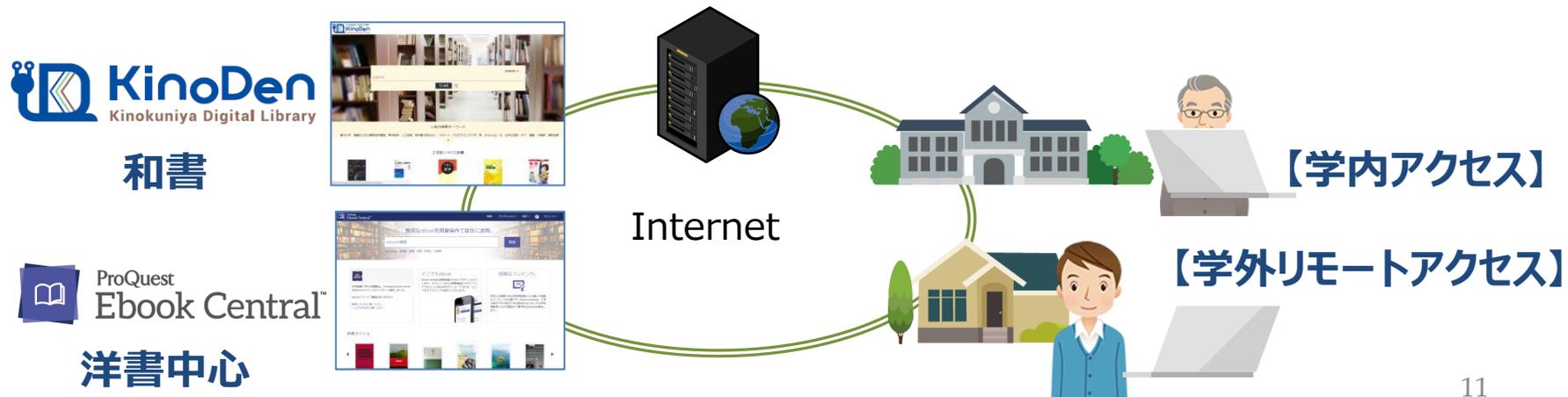
## 2-4. 試し読み&リクエスト購入の仕組み

### ①未購入タイトルを「電子見計らい」的に利用

- ・365日24時間いつでもどこでもアクセス（通年運用可能）
- ・書名だけでなく、目次や抄録、全文も検索対象
- ・新刊だけでなく既刊書も数多く提供

### ②利用者は図書館に購入リクエスト申請が可能

- ・実際の書籍の中身を閲覧
- ・リクエスト承認発注後、利用者はすぐに全文にアクセス
- ・利用者の知識や知見を、選書・蔵書に反映



## 3-1. 紀伊國屋書店からのご提案 その2



利用者（特に学生）に

まずは日常的に電子書籍に親しんでもらう  
スマートフォンから気軽に読書を

**LibrariE（ライブラリエ）には  
そのためのコンテンツが  
豊富にあります**

# 3-2. LibrariE (ライブラリエ) とは



## 1. 4万点以上の一般書新刊

- 小説文芸書、教養書、就活本、ガイドブックなど多数
- 有期限回数制限型だからこそ一般書新刊が提供可能

## 2. オリジナル資料を搭載可能

- 卒論、プレゼン動画等を共有可能 (別途有料)

## 3. EPUBリフローフォーマット多数

- 文字の大きさをデバイスに応じて調整
- スマートフォンなど小さなデバイスでも読みやすい

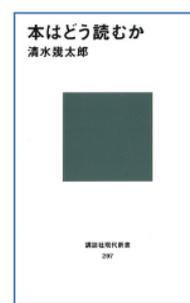
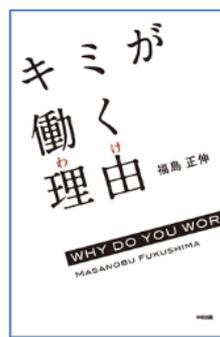
## 4. アクセシビリティ対応

- 音声読み上げ機能 (一部)
- 文字の色反転・拡大



# 3-3. たとえば、一口に就活支援といっても

- 働き方や進路について考えるための書籍も多数
- ハウツーものだけでなく、多様な書籍を提案できるのが図書館の強み
- スマホからもいつでも気軽に読める





# 当日投影します

**当日投影します**

# (参考) 3つのプラットフォーム 比較表

比較項目		KinoDen	LibrariE	ProQuest Ebook Central
概要	サービス開始	2018	2015	2016 (ebrary+EBL統合)
	導入機関数	60	65 (大学24) ※	180 ※
コンテンツ	点数	14,000	40,000	洋書100万点・和書4,000.点
	搭載コンテンツ	学術和書	一般和書	学術洋書・和書
	対応電子書籍フォーマット	PDF,EPUB	EPUB	PDF ,EPUB (洋書)
販売モデル	契約形態	買切	有期限アクセス権 (2年間または52回貸出)	買切、年間購読、短期レンタル
	維持費・年間利用料	なし	コンテンツ購入時にのみ 手数料請求 (固定維持費無)	なし (JUSTICE会員館限定)
認証	基本認証	IPアドレス認証	ID&PW認証	IPアドレス認証
	学認対応	あり	2018年中予定	あり
その他	無償MARC提供	あり	簡易書誌CSV (TRC-MARCは有償)	あり
	管理者機能・利用統計	あり	あり	あり
	印刷・ダウンロード機能	出版社許諾範囲で可能	不可	出版社許諾範囲で可能
	試し読みサービス	一定範囲の試し読み&リクエスト	一定範囲の試し読み	Mediated DDAサービス (5分試読 &リクエスト)

## ■ 個人向けと図書館向け配信の違い

- ・ 個人向け：個人のデバイスで占有が基本
- ・ 図書館向け：機関全体で利用(共有)

### 個人向け



- ・ 専用リーダー/専用アプリで閲覧
- ・ マルチデバイス対応（クラウドで情報同期）
- ・ 異なるサービス間の共有不可

### 図書館向け



- ・ 図書館が購入・提供
- ・ 利用資格のある人なら誰でもアクセス
- ・ 複製が基本可能（ダウンロード、印刷）

## ① 固定レイアウト型

### ■ 特徴

- ・冊子体と同じレイアウトを保証
- ・パソコン、タブレット等大きなデバイス向き
- ・引用や参照には便利（ページ番号が固定）

### ■ 主流フォーマット

- ・PDF、EPUBフィックス型（画像）

### ■ よく利用されるコンテンツ

- ・PDFは学術書に多い
- ・紙（底本）からスキャンしたもの
- ・EPUBフィックス型はコミック、雑誌、  
実用書に多い（写真やイラスト、装飾が豊富）

#### 1.4.7 条件付き極値問題

$n$  個の変数  $x_i$  ( $i = 1, \dots, n$ ) が  $k$  個の条件,

$$g_j(x_1, \dots, x_n) = 0 \quad (j = 1, \dots, k)$$

を満たしながら動くとき、関数  $f(x_1, \dots, x_n)$  の極値を求める問題を、条件付き極値問題 (conditional extremum problem) という。条件付き極値問題の候補は、 $x_1, \dots, x_n$  の他に、さらに  $k$  個の未知数  $\lambda_1, \dots, \lambda_k$  を導入して、 $n+k$  個の未知数を持つ  $n+k$  個の連立方程式,

$$\begin{aligned} g_j &= 0 & (j = 1, \dots, k) \\ \frac{\partial f}{\partial x_i} &= \lambda_1 \frac{\partial g_1}{\partial x_i} + \dots + \lambda_k \frac{\partial g_k}{\partial x_i} & (i = 1, \dots, n) \end{aligned}$$

を解くことにより求められる。このような未知数  $\lambda_1, \dots, \lambda_k$  を用いる条件付き極値問題へのアプローチをラグランジュ未定乗数法 (Lagrange's method of indeterminate coefficients) という。

しかし、これは通常の極値問題で臨界点を求める段階に相当するステップであり、実際に極値かどうかを決定するためには、個々の問題で個別の工夫が必要となる。

#### 1.5 多変数関数の重積分

##### 1.5.1 2変数関数の重積分

$xy$  平面上の領域  $D$  で定義された関数  $f(x, y)$  を点  $(x, y)$  における、ある“質量”の密度と考えたときの、領域  $D$  全体での“質量”の合計を、

$$\iint_D f(x, y) dx dy$$

で表し、 $f(x, y)$  の領域  $D$  での重積分 (multiple integral) という。正確な定義は、1変数関数の定積分と同じく、リーマン積分による方法、または、より一般的にルベーク測度を用いる方法により与えられる。 $f(x, y)$  が連続関数である場合は、1変数の定積分の場合と同様、原始関数を計算する方法で求めることができる。ただし、2変数関数の重積分では、不定積分を2回計算する累次積分 (iterated integral) を行う必要がある。

**定理 1.5.1** 領域  $D$  が直線  $x = a$ ,  $x = b$  と曲線  $y = \phi(x)$ ,  $y = \psi(x)$  で囲まれる領域として与えられている場合、つまり、

$$D: a \leq x \leq b, \quad \phi(x) \leq y \leq \psi(x)$$

である場合、

$$\iint_D f(x, y) dx dy = \int_a^b \left\{ \int_{\phi(x)}^{\psi(x)} f(x, y) dy \right\} dx$$

となる。ただし、 $f(x, y)$ ,  $\phi(x)$  は連続な関数とする。

## ②リフロー型

### ■特徴

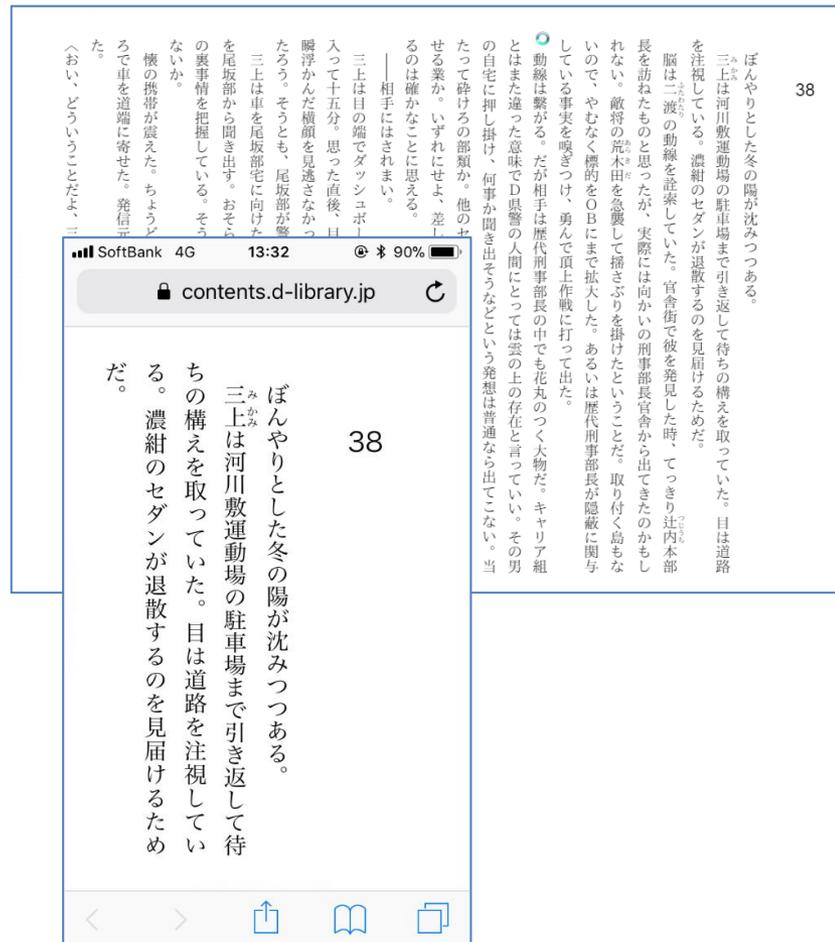
- ・デバイスに応じて文字の大きさを自動調整
- ・スマートフォンからも見やすい
- ・固定ページ概念はない

### ■主流フォーマット

- ・EPUB (リフロー型)

### ■よく利用されるコンテンツ

- ・文字中心の一般・文芸・ビジネス書に多い
- ・学術書での割合はまだ低い
- ・アクセシビリティ (音声読みあげ他)



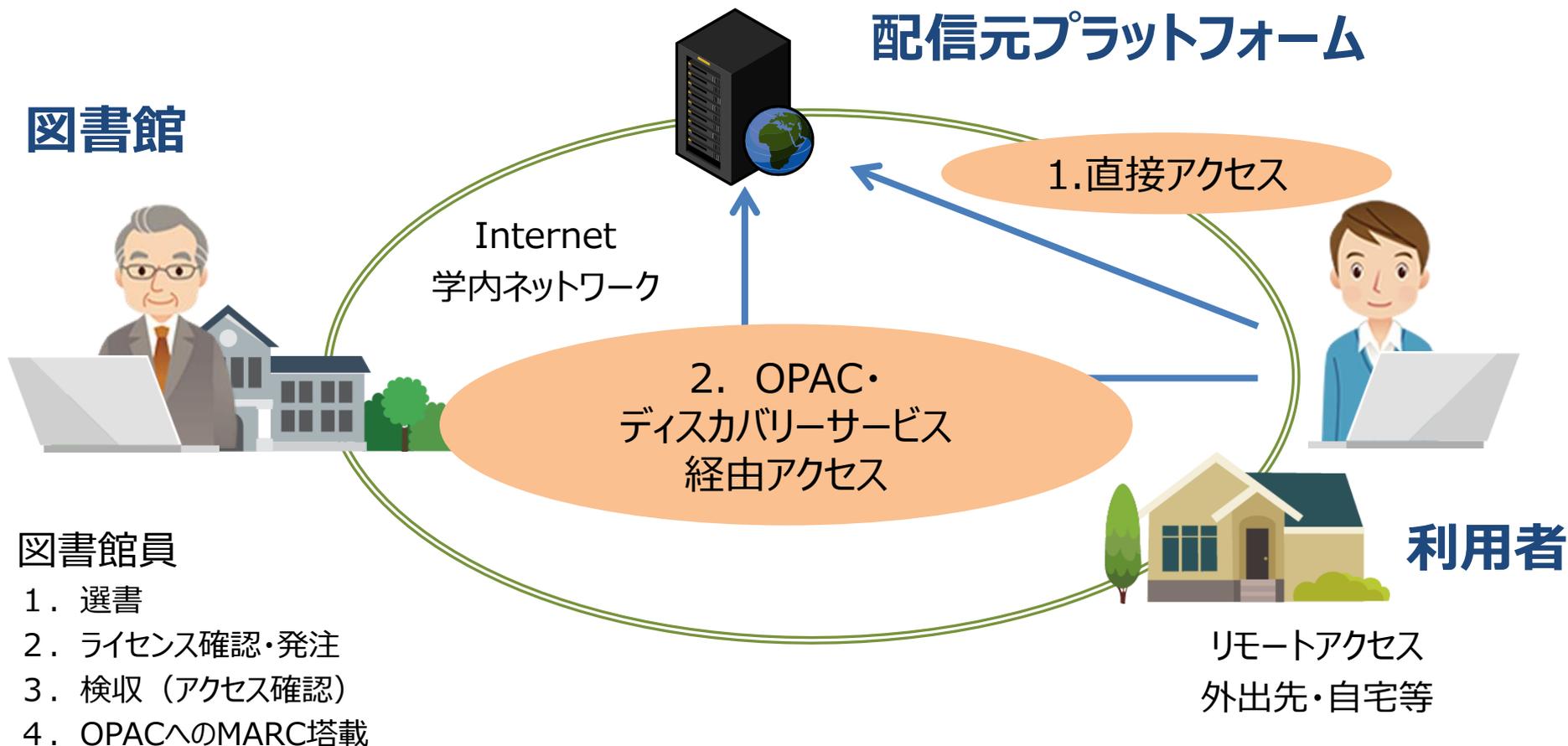
# (付録) 電子書籍ができるまで

## ■ 紀伊國屋書店の場合



# (付録) 大学図書館での電子書籍の提供

## ■ 電子書籍の購入から提供（アクセス）まで



- 1. 選書
- 2. ライセンス確認・発注
- 3. 検収（アクセス確認）
- 4. OPACへのMARC塔載

※OPACやディスカバリサービスからアクセスできると  
電子書籍はより発見されやすくなります。（Visibilityの向上）

## ■ 電子書籍の主なプラットフォーム

公共図書館

学校

大学・研究機関

一般文芸書 : LibrariE、OverDrive

和書

専門書（書店他） : KinoDen,  
Maruzen eBook Library, メディカルオンライン

専門書（出版社系） : 医書.jp

専門書海外アグリゲータ系 : ProQuest, EBSCO

一般文芸書 : OverDrive

洋書

専門書アグリゲータ系  
ProQuest, EBSCO, JSTOR, ProjectMuse, etc

専門書出版社系 : Elsevier, Wiley, Springer-Nature,  
Taylor & Francis, Cambridge, Oxford, etc.

# お問い合わせ・サポート連絡先

株式会社 紀伊國屋書店

ICT営業本部 電子書籍営業部

アドレス: [ict\\_ebook@kinokuniya.co.jp](mailto:ict_ebook@kinokuniya.co.jp)

TEL: 03-5719-2501 / FAX: 03-5436-6921